

## 第9回全国高校生SBP交流フェア 実施要項

### 1. 実施概要

第9回全国高校生SBP交流フェアは、プログラム1についてはオンラインで、プログラム2・3については実地での開催といたします。

開催日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラム1：令和6年7月27日（土）・7月28日（日） SBP アワード オンライン発表会（グループA・B・C・P）</li> <li>●プログラム2：令和6年8月17日（土）、18日（日） SBP アワード 代表発表会・交流会・ワークショップ・表彰式</li> <li>●プログラム3：令和6年9月7日（土） プレミアムステージ発表会・交流会</li> </ul>
開催場所	<p>プログラム1：オンライン、プログラム2：皇學館大学（三重県伊勢市） プログラム3：ハリウッド美容専門学校（東京都港区六本木）</p>
主催	未来の大人応援プロジェクト実行委員会
後援	文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、度会町、皇學館大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会、三重ニュービジネス協議会
協力	株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NTGROUP、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、株式会社グラノ24K、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、チューリッヒ保険会社、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、株式会社フォーバル、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他
広報	マスコミ（TV、新聞等）への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施
参加団体	35 団体（SBP アワード出場 26 団体、交流会参加 35 団体） 参加予定者 約 400 名 （生徒 約 300 名、引率・審査員・その他関係者 約 100 名）
開催趣旨	<p>全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを支援していくとともに、趣旨に賛同した関係各府省や各種企業が協力して実施する“民官地”協働プロジェクトとして、地域の活性化に寄与することを目指している。</p> <p>当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画している。</p>

※「後援」「協力」「参加団体」につきましては現在調整中（一部、昨年度実績を記載。）

## 2. SBPとは

SBPとは、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトの略称であり、高校生ら若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）の考え方に即して、ビジネス手法を取り入れながら、地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）の発掘・企画・開発・販売・発信等を通じて地域の課題を解決する「学びの機会」とともに、その取組を地域が関わり、応援し支えていこうというものです。

SBPは、以下のような効果と成果を期待しながら活動を展開します。これらの活動を通じて、高校生らが「郷土愛の醸成」、「地域や地元に対する魅力発見・定着」、「地域の一員として地域活性化への貢献」等を期待します。

- ・ 高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、地域の方々（地元住民、商工、行政、企業、NPO等民間団体等）とその解決を目指す事業であり、①「主体性」、②「社会性」、③「事業性」、④「革新性」の4要件を満たしており、活動成果として地域経済の活性化や新しい雇用ビジネスの創出に寄与する効果を期待します。
- ・ 地域にある宝（地域資源）を発掘し、地域づくりに結び付けながら、自己研鑽能力を高めることを期待します。
- ・ 地域課題に対して「ビジネス」の手法を用いて創意工夫しながら実践に取り組むなかで、企画立案・プロデュース能力を習得することを期待します。
- ・ 全国の高校生ら若者との交流を通じて、広域による新たなソーシャルビジネスの展開を期待します。

SBPは、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。そして今、この地域に根差した取組が全国に広がっており、現在約80の団体がそれぞれの地域で活動をしています。



### 3. 実施スケジュール

#### ●プログラム1：SBP アワード（チャレンジ・プレミア） オンライン発表会

令和6年7月27日（土）・7月28日（日）

SBP アワードに出場する団体の取組発表をオンラインで実施します。

SBP アワードに出場されない団体・関係者は見学（視聴）ができます。

#### 【プログラム1の日程】

日程	時間帯	内容
7月27日（土） グループA	8:30	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	9:00	プログラム1 開会式 ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP アワード（チャレンジ部門） オンライン発表会（発表5分、質疑応答5分）
	9:30	・参加団体の発表者が順番に発表をおこなう（5分ごと） ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施（5分以内） ・参加団体ごとに発表を終えた時点で休憩
	11:30	プログラム1 閉会式 ・閉会挨拶、全体での写真撮影
7月27日（土） グループB	12:30	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	13:00	プログラム1 開会式 ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP アワード（チャレンジ部門） オンライン発表会（発表5分、質疑応答5分）
	13:30	・参加団体の発表者が順番に発表をおこなう（5分ごと） ・各発表が終わりしだい審査員の質疑応答を実施（5分以内） ・参加団体ごとに発表を終えた時点で休憩
	15:30	プログラム1 閉会式 ・閉会挨拶、全体での写真撮影
7月28日（日） グループC	8:30	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	9:00	プログラム1 開会式 ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP アワード（チャレンジ部門） オンライン発表会（発表5分、質疑応答5分）
	9:30	・参加団体の発表者が順番に発表し、続いて審査員の質疑応答を実施。 ・発表終了後のインターバルを随時設ける。
	11:30	プログラム1 閉会式 ・閉会挨拶、全体での写真撮影
7月28日（日） グループP	12:30	受付開始 ・Web会議システムで用意された仮想の会議室に入室
	13:30	プログラム1 開会式 ・主催者代表挨拶、審査員・発表団体紹介 SBP アワード（プレミア部門） オンライン発表会（発表10分、質疑応答10分）
	13:30	・参加団体の発表者が順番に発表し、続いて審査員の質疑応答を実施。 ・発表終了後のインターバルを随時設ける。
	15:30	プログラム1 閉会式 ・閉会挨拶、全体での写真撮影

SBP アワード オンライン発表会の結果発表および講評は8月4日（日）10:00よりオンラインにて実施します。A・B・C（チャレンジ部門）の各グループから2団体ずつ、P（プレミア部門）グループから1団体、合計7団体が選出され、SBP アワード 代表発表会にて発表をおこないます。

●プログラム2：SBPアワード（チャレンジ・プレミア部門）代表発表会・交流会（三重県伊勢市 皇學館大学にて開催）

令和6年8月17日（土）・8月18日（日）

【1日目】SBPアワードの代表発表会（皇學館大学の講堂にて取組発表）をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取組（商品の販売や作品発表）を発表しながら交流をおこないます。

【2日目】協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。また大人のための交流・セミナーを同時開催します。昼食には相可高校食物調理科のお弁当をいただき、その後SBPアワードを含めた結果発表・表彰式、審査員や大人との交流をおこないます。

【プログラム2の日程】

日程	時間帯	内容
8月17日 (土)	会場移動 12:00	宇治山田駅からバスを用意（公共交通機関利用時） ・バスの時間：11:00、11:30、12:00（30分ごとに1便を予定） 受付開始 会場：皇学館大学 記念講堂入り口（ロビー） ・受付時に検温・消毒・健康チェック、荷札を配付 ・修養団へ運ぶ荷物は、荷札を付けて <b>バスに載せる</b> ・SBPアワード 代表発表会出場団体は10:00より講堂にて練習可 ・審査員は11:00より2号館211教室にて受付・打ち合わせ
	12:45 13:00	フェア成功祈願祭（皇學館大学祭式研究部） プログラム2 開会式 会場：記念講堂 ・主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会 岸川政之） ・後援団体代表挨拶（皇學館大学 学長 河野 訓） ・オリエンテーション（審査員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、日程確認、諸連絡など）
	13:30	SBPアワード 代表発表会（発表10分、質疑応答10分） 会場：記念講堂 ・開会御挨拶 文部科学省 <b>調整中</b> ・参加団体の発表者が順番に発表し、続いて審査員の質疑応答を実施。 ・発表終了後のインターバルを随時設ける。
	16:30	SBPアワード 代表発表会終了・実践発表交流会準備 ・参加団体は食堂（倉陵会館）へ移動して夕食をとる。 ・審査員は211教室にてSBPアワードの審査を継続 （終わり次第実践発表交流会へ合流）

	16:30~17:30	移動・夕食 会場：食堂（倉陵会館）
	17:30~	実践発表交流会 会場：総合体育館 ・各高校のブース（取組発表、販売など）を設け自由交流を行う。 【スケジュール】 ・17：30～ 開会のあいさつ ・17：30～18：00 各高校による1分間PRタイム ・18：00～18：45 自由時間 ・18：45～19：30 パフォーマンス（踊り） ・19：30～19：40 閉会 ・19：40～ 片付け・解散
	19:40	実践発表交流会終了 ・片付け・解散 ・修養団や各団体が予約した宿泊施設に移動 ・修養団へのバスの時間：19:30、20:00、20:30（30分ごとに1便を予定）
日程	時間帯	内容
8月18日 (日)	09:00	ワークショップ・SBPセミナー ・事前に登録したワークショップ会場に移動 WS① 食堂（倉陵会館） WS② 731教室 WS③ 732教室 WS④ 712教室 WS⑤ 733教室 WS⑥ 711教室 WS⑦ 722教室
	11:30	昼食（お弁当） ・ワークショップ終了後、食堂（倉陵会館）へ移動 ・食堂にて相可高校食物調理科によるお弁当
	13:00	結果発表・表彰式 会場：記念講堂 ① アワード「雅」「輝」「極」・審査員特別賞表彰 ・7月30日、31日に実施されたSBPアワードオンライン発表会の発表 に対して、「雅」「輝」「極」の表彰をおこなう。 ・特別賞の審査員からそれぞれの特別賞の発表・講評・表彰をおこなう。
	14:40	② 審査員交流 ・審査員特別賞を授与した審査員と受賞団体が記念講堂内で分かれて交 流をおこなう ・その他の参加者も同様に大学生や審査員、関係者との交流をおこなう
	15:20	③ 文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞表彰 ・SBPアワード代表発表会の団体から、文部科学大臣賞、三重県知事賞 を選出・表彰おこなう
	15:30	プログラム2 閉会式 ・主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会） ・閉会式後、記念撮影
	16:00	解散（プログラム2終了） ・必要な高校にはバスにて駅まで送迎を実施。 バスの時間：16:00（2便）、16:30（1便を予定）

●プログラム3：第9回全国高校生 SBP 交流フェア『プレミアステージ』

令和6年9月7日（土） （会場：東京都六本木 ハリウッド美容専門学校にて）

プログラム1、2の中で、取組が優れている団体（選出条件は以下に記載）につきましては、「プレミアステージ」にて発表を行っていただきます。

○出場団体の選出について

出場団体：3団体程度

- ①今回（第9回フェア）のプレミア部門にて最優秀の評価を得た団体（1団体）
- ②　　　　　〃　　　　　のチャレンジ部門にて、新たに文部科学大臣賞を受賞した団体（1団体）
- ③実行委員会が、推薦する団体（1団体以上）

【プレミアステージの日程】

日程	時間帯	内容
9月7日（土）	13:00	プログラム3 開会式
	13:30	団体発表（3団体予定）（発表10分、質疑応答10分、準備&休憩10分）
	15:00	講評
	15:20	交流会
	16:00	閉会

## 4. 参加形態および参加費・宿泊について

### ●参加形態について

SBP 交流フェアへの参加については、SBP アワードへの出場、実践発表交流会への出展、ワークショップ・見学（のみ）から、お好きな項目をお選びいただきます。

- SBP アワードへの出場+実践発表交流会への出展+ワークショップ
- SBP アワードへの出場+ワークショップ
- 実践発表交流会への出展+ワークショップ
- ワorkshop・見学（のみ）

#### 【参加形態と必要な手続き】

参加形態	参加申込	SBP アワード 書類提出	実践発表 出展申込	WS 希望確認
SBP アワードへの出場	●	●	なし	●
実践発表交流会への出展	●	なし	●	●
ワークショップ・見学（のみ）	●	なし	なし	●

### ●参加費・宿泊費について

プログラム 2 が現地開催の場合のみ 1 名あたり 1,000 円が必要となります。会場最寄り駅までの交通費と宿泊費は各参加団体のご負担となります。

宿泊については伊勢修養団にて 1 泊 4,000 円にてお泊り頂けます。宿泊数（150 名程度）に数があるため先着順で事前予約となります。それ以外の宿泊場所の確保は各団体にてご対応ください。

また、プログラム 1 のオンライン開催参加時はインターネット環境およびパソコン・Web カメラなどの機器が必要となります。これらの機器は各団体にて用意ください。Web 会議システムは Microsoft Teams を利用しますが、Web 会議への参加に必要なアカウントはこちらにて用意いたします。

## 5. 参加対象

---

### ●参加対象者

地域と連携した持続可能なソーシャルビジネスに取り組む高校生や高校等の団体及び SBP 活動に関わる地域や企業の方、行政関係者等が対象となります。

#### (1) SBP の趣旨に賛同でき、SBP 活動として紹介しても良い団体

\*SBP 交流フェア全日程に参加できる団体を優先します。

\*SBP に限らず同様の取組をしている高校は多くあります。このフェアでは、自分たちの取組をモデルとして、他団体が同じことをしても構わないというオープンな姿勢で学び合える活動を目指しています。

\*フェアの中で撮影される動画や写真は後日、当団体のホームページや SNS、各種メディアに掲載されることがあります。事前にご了承願います。

#### (2) その他、これから SBP 活動の立ち上げを検討されている方や取組に関心のある方等

#### (注記) 全国高校生 SBP 交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします（国立・公立・私立は問いません）。

「高等学校」「中等教育学校の後期課程」「特別支援学校の高等部」「高等専修学校」

「高等専門学校（第1学年から第3学年まで）」「その他これらに準ずる教育機関」

ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

## 6. 参加部門の内容

---

### (1) SBPアワードへの出場

- ① 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体である団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要件となります。  
「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても問題ありません。
- ② 原則として次の全ての要件を備えている取組を対象とします。
  - \* 主体性のある取組
    - 高校生が運営上の意思決定をしている
    - 団体・グループの活動規約等がある
    - 団体・グループの活動規約で参加者の役割が明確である
  - \* 社会性のある取組
    - 地域の課題を反映してその課題の解決に寄与している
    - 活動には地域・コミュニティとのつながり「絆（きずな）」がある
    - 地域行政、地元企業・団体等と連携している
  - \* 事業性のある取組
    - 事業が自立的で継続的である（取組中も含む）
    - 企業・団体等と連携している
    - クライアントの意見・声等を活動に反映している
  - \* 革新性のある取組
    - 新しい視点・手法を活動に導入している
    - 他の取組と差別化できている
    - 他の地域にも波及する可能性がある
- ③ 例外として、これまでに全国高校生SBP交流フェアの本アワードに応募したものであっても、発展性のある取組が見られるものについては再応募も可能とします。また、過去に本フェアにて文部科学大臣賞または三重県知事賞を受賞した団体の応募（ただし、受賞時と同じ取組に限る）においては、書類審査は免除します。（応募資料の提出は必要です）

### (2) 実践発表交流会への出展

実践発表交流会は、SBPの実践発表会の場合として物品の展示や販売・劇やダンス・映像を使った発表などをおこないながら、参加する高校生、関係者らと交流します。出展を希望される団体についてはそれぞれの発表の仕方を調整の上、実施いただきます。

\* 第4回では、三重県伊勢市駅近くにある「しんみち商店街」にて夜の市、第5回・第6回ではオンライン交流会、第7回では皇學館大学（芝生広場）にて交流会を実施しました。

### (3) SBPアワードの見学・オンライン交流会への参加

SBPの取組やSBP交流フェアを応援してくださっている協賛企業・団体が、高校生のために動画やアート、レクレーションなどのワークショップを実施します。SBP交流フェアの見学を含め高校生が無料で参加できます。

\* これまでのSBP交流フェアでは動画やCM作成、トートバッグ、Tシャツづくり、壁画

作成、SDGs セミナー、レクレーションなどをおこなっています。

\* 同時間帯にて大人の方（引率、関係者など）へ向けた SBP セミナーも開催します。

## 7. SBP アワードでの審査方法・応募・発表内容・表彰について

---

### (1) 審査方法

#### ① 書類審査

応募団体からの提出書類及び活動紹介動画と実行委員会が必要に応じて提出を求める資料・書類について書類審査を行い、本選考基準に基づいて参加団体（24団体程度）を選考します。（活動動画提出は、任意ですが加点対象となります）

#### ② SBP アワード オンライン発表会

書類審査で選ばれた団体はA、B、Cブロックに分かれそれぞれの オンライン発表会（オンライン）にて発表をおこないます。発表内容は審査員が絶対評価を行い、それぞれ『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、90点未満）、『雅』（50点以上、75点未満）の評価を行います。

また、各ブロックの上位2団体、計6団体については代表発表会（現地）への出場団体として決定します。

審査については、以下の項目を基準に総合的に審査します。

- ① 取組に関すること 「主体性」「社会性」「事業性」「革新性」
- ② 当日の発表に関すること 「発表の内容と方法の工夫」「質問への応答」

### (2) 応募に当たっての留意事項

- ・ 地域（住民・市民活動団体、NPO等民間団体、企業、商工団体等、行政（役場等））との協働関係のもと、地域課題解決をテーマとした取組や、地方創生につながる取組であること。
- ・ 応募資料の他、スマートフォンやタブレットなどで撮った1分程度の取組紹介映像の提出をお願いしています。参考映像はSBP 交流フェアのページをご覧ください。動画提出は任意ですが書類審査における加点対象とし、ホームページ上で学校紹介、取組紹介等と合わせて、紹介させていただくことがあります。
- ・ 応募に当たって参考になる資料がありましたら、申し込み時に一緒に提出ください。送付方法などは別途案内致します。
- ・ 御提供いただいた情報及び今後御提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。
  - ① 御本人・団体の確認
  - ② 応募の受付、審査及び審査結果の通知・発表（応募用紙の情報（団体名、代表者名、取組名、活動内容等）をホームページ等で公表することがあります）
  - ③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供
- ・ 審査内容についての個別の問い合わせには応じられません。また、応募書類等の返却はいたしません。
- ・ 虚偽の事実や盗用等が判明した場合は、結果発表後においても受賞を取り消すことがあります。
- ・ 応募プランに関する全ての権利（著作権、肖像権、特許権、商標権等）については、必要に応じて予め応募者が行ってください。これらの権利に関して第三者から異議や請求等があった場合は、応募者の責任において処理していただきます。

### (3) 応募後の連絡

提出いただいた書類をもとに、開催趣旨と上記アワードの基準に沿って事務局で選考をし、結果をお知らせいたします。なお、提出いただいた書類の内容について不明点等がある場合は再提出を依頼することもあります。

### (4) 発表内容

#### ① SBP アワード オンライン発表会

発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取組内容です。

Web 会議システムを使ったオンラインでの発表となり、取組内容などを自由に発表していただきます。審査時間は、各団体それぞれ説明（5分）、質疑（5分）です。

当日の通信や機器不具合を回避するために、発表の一部は動画であらかじめ録画し、当日に利用します。団体ごとの発表場所・環境については各団体にてご準備ください。

#### ② SBP アワード 代表発表会

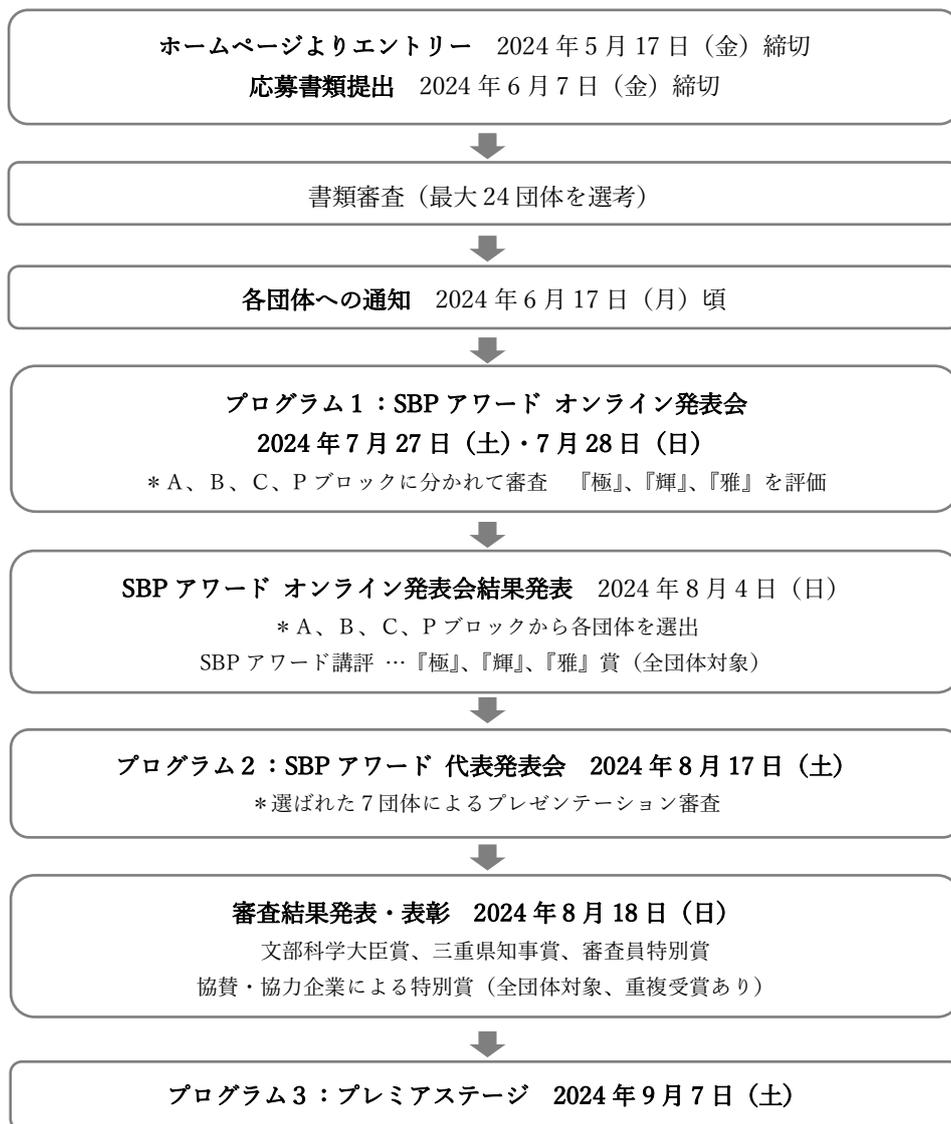
発表内容は、1. 団体名、2. 取組名（事業名）、3. 取組内容です。代表発表会は皇學館大学の講堂にて登壇して発表頂きます。審査時間は、団体それぞれ説明（10分）、質疑（10分）計 20 分です。なお、発表でプレゼンテーションソフトを使用する場合は、Microsoft Office の Power Point（最新版）を使用します。

### (5) 表彰の種類

最優秀賞として文部科学大臣賞、優秀賞として三重県知事賞を授与するほか、審査員特別賞、各協賛企業の特別賞を授与する予定です。

## (6) エントリーからの流れ

エントリーからの流れは次の通りです。



## (7) 審査委員・審査体制について

SBP アワードは、以下の2つの審査委員によって評価がおこなわれます。

種類	役割等	授与内容
審査委員	SBP アワードが定める審査基準に基づき評価する。 SBP アワードの代表発表会へ出場する団体を選出する。	文部科学大臣賞 三重県知事賞 審査員特別賞
特別賞審査員	各協賛企業の特別賞を選定するため独自の基準に基づき評価する。	各協賛企業による特別賞

\* 審査委員によっては「審査委員」と「特別賞審査委員」を兼務頂く場合があります。

\* 審査委員によっては日程の都合等により代理の方が審査をする場合があります。

審査委員は以下の通りです。五十音順にて記載します。敬称は省略させていただきます。

### 【審査委員】 ※現在調整中のため、昨年度実績を記載。

氏名	所属等
海住 禎人	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長
角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)
小村 俊平	ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長
小役丸 秀一	株式会社グラノ24K 代表取締役
武井 史織	アドビ クリエイティブクラウド コミュニティマネージャ
多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー
鉄矢 悦朗	東京学芸大学 教授 / NPO 法人 東京学芸大こども未来研究所 副理事長
小林 拓哉	東京学芸大学 子どもの学び困難支援センター 共同研究員
徳野 貞雄	トクノスクール・農村研究所 代表 / 熊本大学 名誉教授
新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 教授
藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 調査部 主席研究員
山北 正也	三重県教育委員会 高校教育課 課長 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員)
谷奥 茂	三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐兼班長
渡邊 文稔	株式会社百五銀行 公務部 課長
大学生 SBP	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 森 知帆里 (現代日本社会学部 3年) 上村 駿介 (文学部 2年) 登 唯翔 (現代日本社会学部 1年) 松井 輪昇 (文学部 1年)

特別賞審査委員は以下の通りです。五十音順にて記載します。敬称は省略させていただきます。

**【特別賞審査員】 ※現在調整中のため、昨年度実績を記載。**

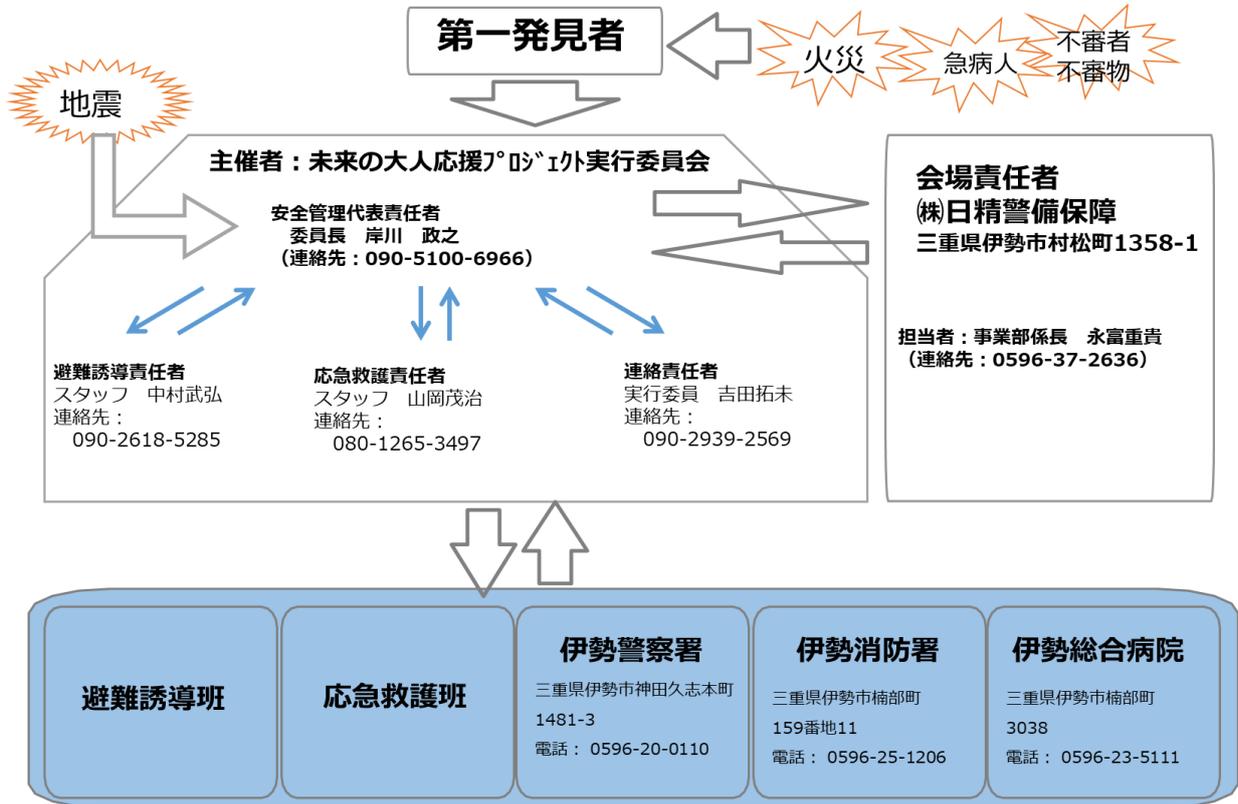
氏名	所属等	特別賞
海住 禎人	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
泉 正隆 高橋 眞	BS よしもと株式会社 代表取締役副社長 BS よしもと株式会社 地域推進・事業局 局長	BS よしもと賞
上村 久仁	三重県度会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞（ 南伊勢町長賞）
太田 裕二	みらいこ株式会社 取締役	みらいこ賞
角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)	角田陽一郎賞
楠木 裕子	株式会社アイブレーション 代表取締役社長	アイブレーション賞
小島 邦彦	NEXCO 中日本サービス株式会社 総務企画部	NEXCO 中日本 サービス賞
鉄矢 悦朗 小林 拓哉	東京学芸大学 教授 /NPO 法人 東京学芸大こども 未来研究所 副理事長 東京学芸大学 子どもの学び困難支援センター 共 同研究員	東京学芸大学賞
小村 俊平	ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長	ベネッセ賞
小役丸 秀一	株式会社グラノ24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
坂本 由子	コスモピア株式会社 代表取締役	コスモピア賞
佐々木 一晃	三重県伊勢市役所 伊勢市産業観光部 部長	伊勢市長賞
佐村 英之	合同会社プレシャスコネクション 社長	プレシャスコネ クション賞
武田 数宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所 長	SYD 賞
武井 史織	アドビ株式会社 クリエイティブクラウド コミュニ ティマネージャ	アドビ賞
多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーショ ン部 広報グループリーダー	三井化学賞
筒井 琢磨	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学 現代日本社会 学部賞
新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長	皇學館大学賞
徳野 貞雄	テクノスクール・農村研究所 代表/ 熊本大学 名誉教授	徳野賞
中沢 洋子	(特非) 十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの 代表理事	ハピたの賞

荒木 康行	株式会社ちとせ 代表取締役社長	未来の大人賞
野呂 厚史	株式会社アンシャンテ 代表取締役	アンシャンテ賞
福田 圭	有限会社わらしべ 代表取締役	たいやき わらしべ賞
濱田 典保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
梅澤 孝史	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
大学生 SBP	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 森 知帆里（現代日本社会学部 3 年）上村 駿介 （文学部 2 年）登 唯翔（現代日本社会学部 1 年） 松井 輪昇（文学部 1 年）	大学生 SBP 賞
皇學館大学 学生スタッフ	皇學館大学 学生スタッフ 一同 代表：小林 圭矢（こばやしけいや現代日本社会学部 3 年）、仲 隼平（なかじゅんぺい現代日本社会学部 3 年）、西口 竜成（にしぐちりゅうせい現代日本社会 学部 3 年）	皇学館大学 学生スタッフ賞

## 8. 災害時災害対策について

災害時等の緊急時には、以下フローチャートに沿って対応いたします。また、安全管理体制として以下のように人員を配置し、対応いたします。

### ■対応フローチャート



### ■安全管理体制



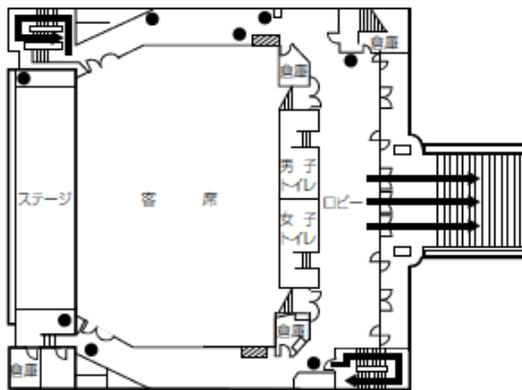


記念講堂 (大学事務局・出版部)

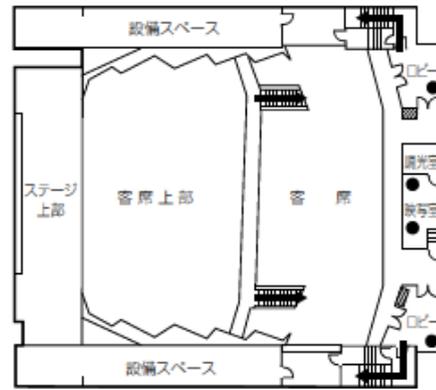


記念講堂  
 8月17日(土)  
 ・オープニング  
 ・SBP アワード代表発表会  
 8月18日(日)  
 ・結果発表、表彰等

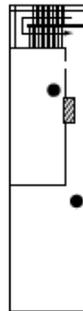
2階(講堂)



3階(講堂)



B1階



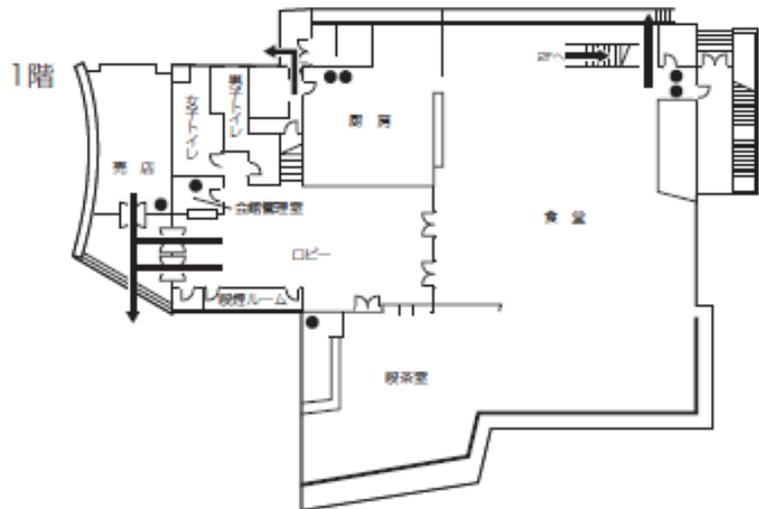
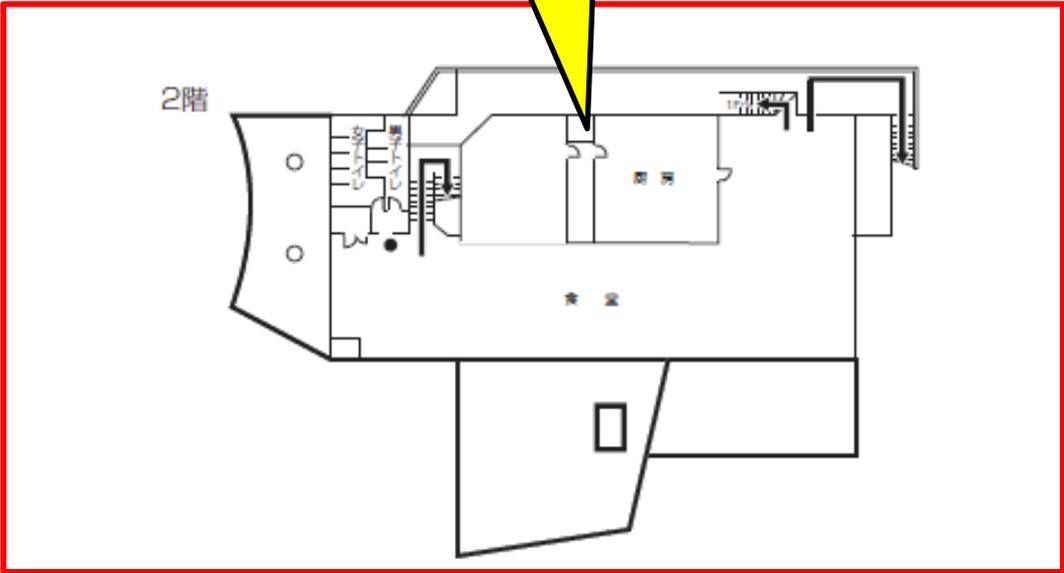
1階(大学事務局・出版部)



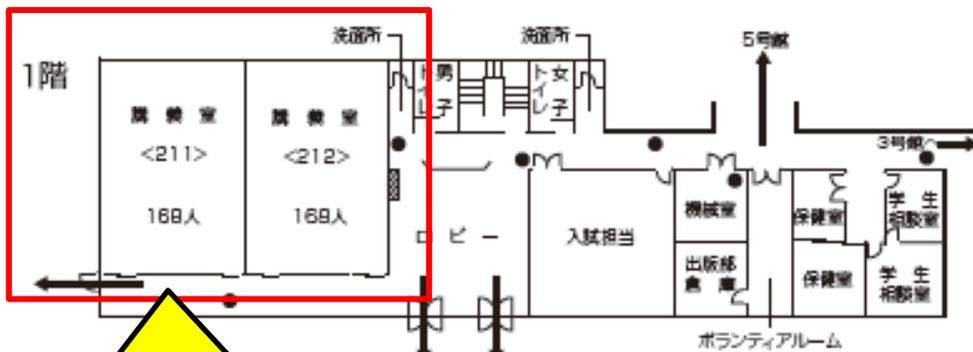
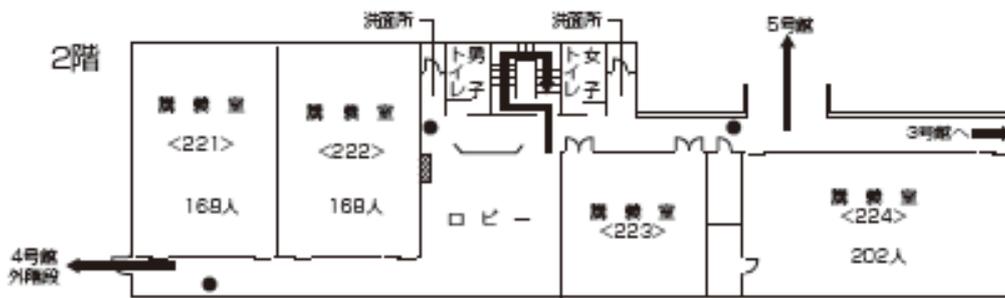
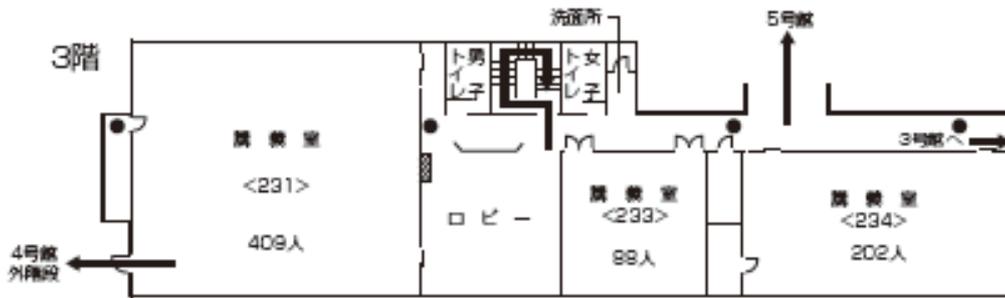
倉陵会館（学生食堂）



学生食堂2F  
 8月17日（土）  
 ・交流会  
 8月18日（日）  
 ・WS  
 ・昼食会場  
 ・プレゼンターと受賞団体の交流

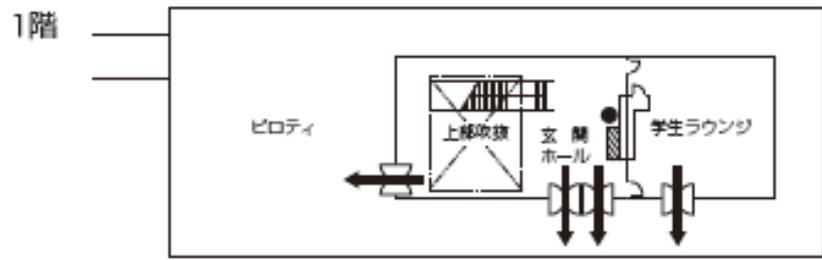
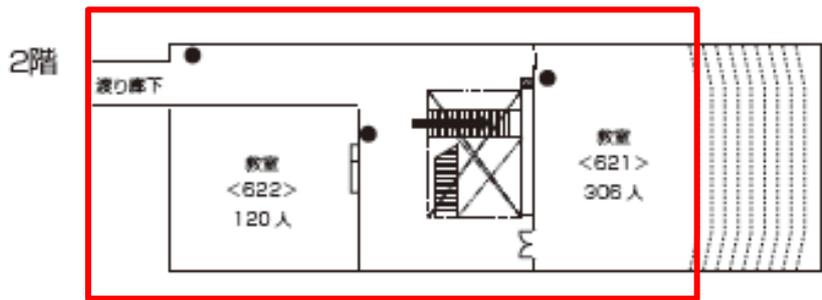
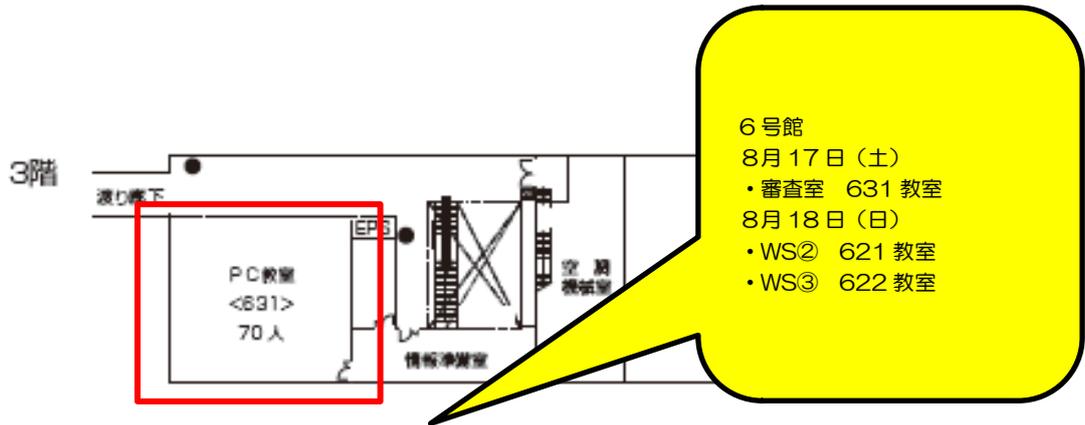


2号館（講義棟・入試担当・学生相談室・保健室・ボランティアルーム）

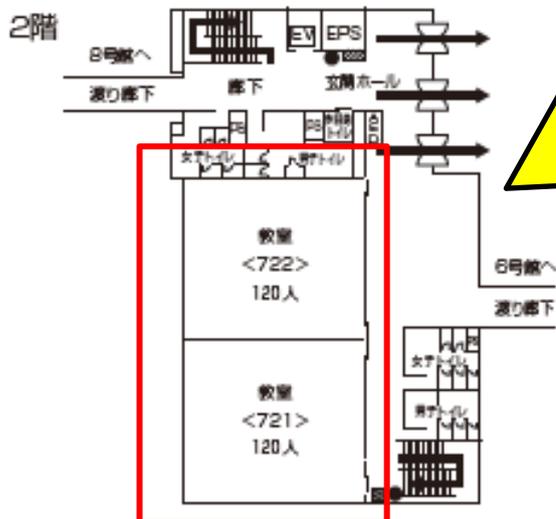
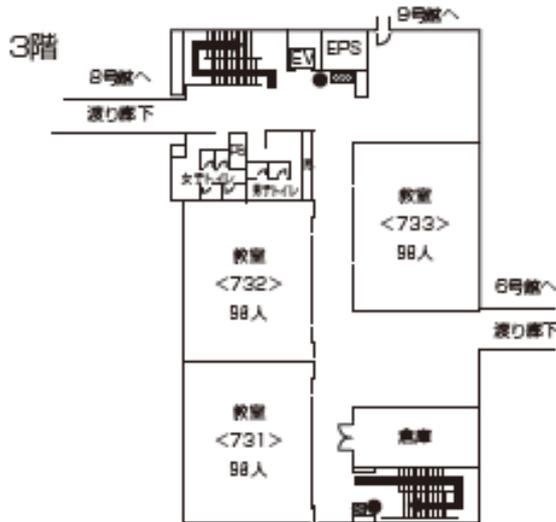


2号館  
 8月17日(土)  
 ・審査員控室 211 教室  
 ・荷物置き場 212 教室  
  
 8月18日(日)  
 ・審査員控室 211 教室  
 ・プレゼンターと受賞団体の交流 212 教室

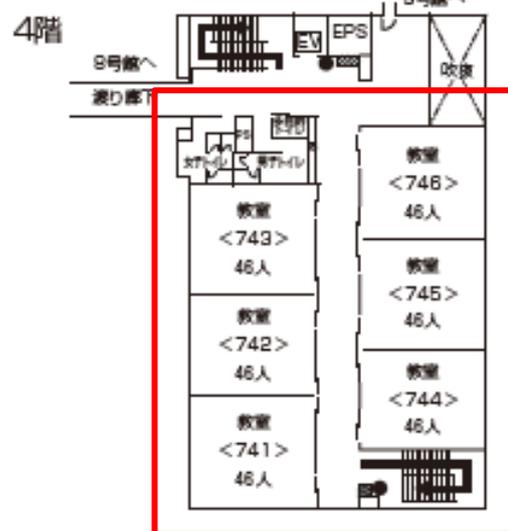
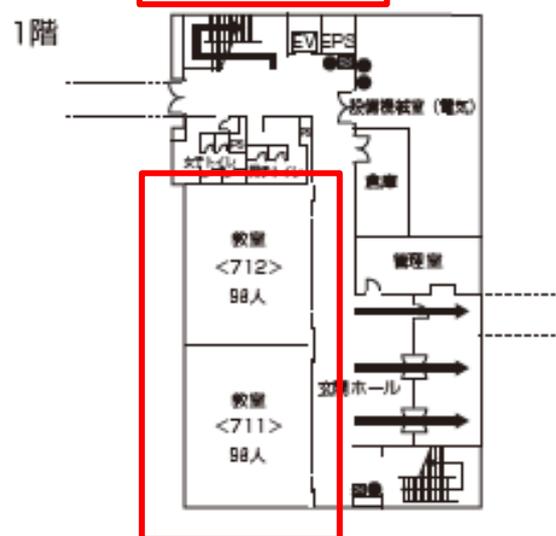
6号館 (講義棟)



7号館 (講義棟)



- 7号館  
 8月18日(日)  
 ・荷物置き場 711 教室  
 ・WS④ 712 教室  
 ・WS⑤ 721 教室  
 ・WS⑥ 722 教室  
 ・WS⑦ 741 教室  
 ・WS 742 教室  
 ・WS 743 教室  
 ・WS 745 教室  
 ・WS 746 教室  
 ・荷物置き場 721 教室



# アクセスマップ

## 皇學館大学



所在地	〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL	0596-22-0201(代)
FAX	0596-27-1704
交通	伊勢市駅（JR・近鉄）または宇治山田駅（近鉄）より、内宮行バス（徴古館前経由）または宿浦行バスに乗りし、皇學館大学前下車（約10分）。徒歩の場合は、各駅より約20分。

## 10. お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクトホームページ (<https://mirai-otona.jp/>) にてご確認ください、  
ご不明な点は下記にご連絡ください。

お問い合わせ先

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局

住所：〒516-0074 三重県伊勢市本町 8-11

東日本エリア担当：中沢 仁 080-1809-2003 h-nakazawa@mirai-otona.jp

西日本エリア担当：岸川 晃大 080-3829-1413 a-kishikawa@mirai-otona.jp